

超・色鉛筆アート展



神戸ワザ12人の彩りスタイル

2023.

9.9 SAT. - 11.5 SUN.

開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで) 休館日 月曜日、9月19日、10月10日(ただし9月18日、10月9日は開館)

観覧料 一般 1,000(800)円、大学生・神戸市外在住の65歳以上 500(400)円、高校生以下・神戸市内在住の65歳以上 無料

※()内は有料入館者30名以上の団体料金。※神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

※学生の方は、学生証、生徒手帳などをご提示ください。※65歳以上の方は、年齢とご住所が確認できるものをご提示ください。

主催:神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社 後援:サンテレビジョン、ラジオ関西
監修:村田隆志(大阪国際大学教授) 展示協力:大阪樟蔭女子大学

K 神戸ファッション美術館
KOBÉ FASHION MUSEUM

特別展

「超・色鉛筆アート展～神戸ワザ12人の彩りスタイル」

2023 9.9(土) - 11.5(日)

企画概要

色鉛筆は幼い日からお絵かきやぬりえに常に寄り添う画材でした。いろいろな色を使って気軽に、楽しく絵を描ける色鉛筆…。

身近であるだけに、その可能性に目が向けられることはあまりありませんでした。

しかし、親しみやすいということは、その可能性を無限に追求できるということでもあります。多くの人々が独創性を発揮して、入魂の作品を SNS などで紹介したり、テレビ番組で芸能人が色鉛筆画に挑む姿が話題になったりするなど、いま色鉛筆によるアートシーンはにわかに活況を呈しています。

本展は、SNS 内で作品を発表し有名になった、いわゆる“バズった”超絶技巧の作家をはじめ、様々なスタイルで制作活動を展開する作家たちなど「神ワザ」を持つ12人の色鉛筆画家にスポットを当てる本邦初の展覧会です。

思わず息をのむほどに色鮮やかな原画作品120件に加え、制作過程がわかる動画、愛用の画材なども展示します。驚愕の色鉛筆アートの世界をどうぞお楽しみください。

展示構成 { 出品作家 12人 }

音海はる

みやかわ

ぼんぼん

三賀亮介

石川 @ 色鉛筆

リヒト

曾我美香

林 亮太

miwa kasumi

村松 薫

弥永和千

和田橋畔



石川 @ 色鉛筆 《アカメアマガエル》 2022年(部分)

主な展示作品



音海はる 《透き通る》 2020年



村松薫 《Roses are pink》 2017年



みやかわ 《ジャムトースト》 2022年



石川@色鉛筆 《葉っぱと水滴》
2022年



ぼんぼん 《炭火烧肉》 2021年 制作風景

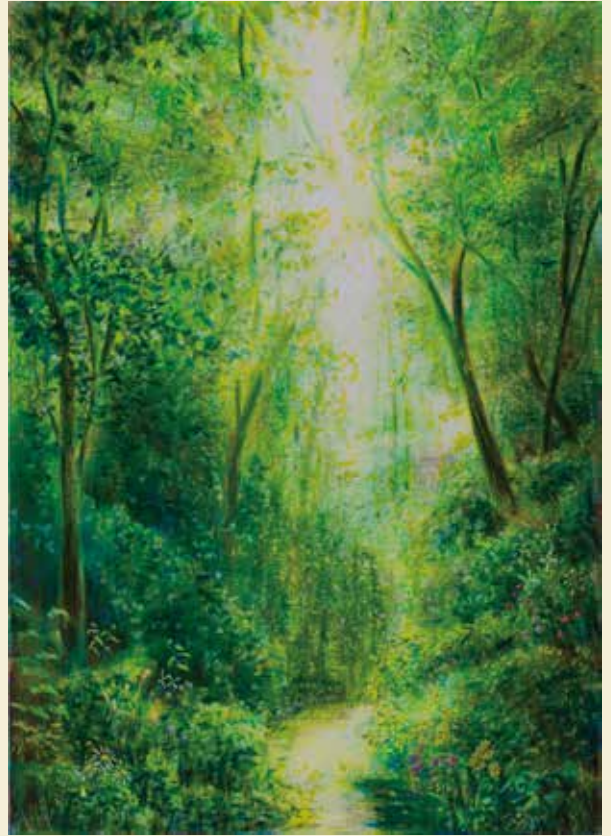


林亮太 《広島憧憬 盛夏の尾道階段路地》
2022年

主な展示作品



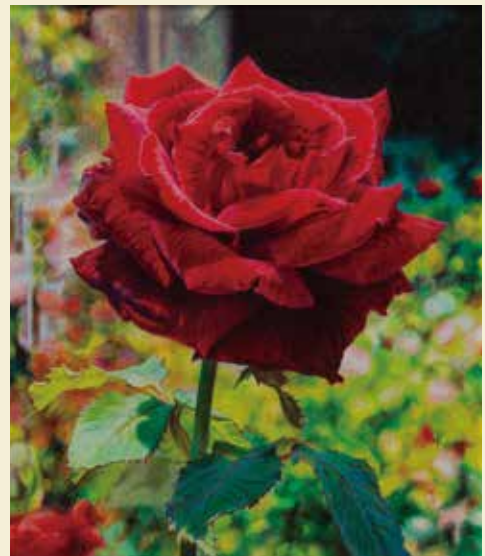
miwa kasumi 《黄金の毛のマルちゃん》 2017年



弥永和千 《神鹿の森》 2022年



和田橋畔 《新東京名所図絵「国技館 太鼓櫓とのぼり旗」》
2020年



村松薫 《Summer》 2022年



みやかわ 《ペッパーミル》 2023年

主な展示作品



ぼんぼん 《たこ焼き》 2019年



林亮太 《音楽のある静物3》 2021年



リヒト 《東京・西新宿の自販機》 2021年



三賀亮介 《ウサギ》 2022年



音海はる 《光》 2020年

入館にあたってのおねがい

- ・ 咳、発熱など体調不良の症状がある方は、
ご入館をお控えください
- ・ 館内が混雑している際は、マスクの着用を
推奨いたします
- ・ 咳エチケットをお守りください
- ・ 手指消毒にご協力ください
- ・ 入館時の体温測定にご協力ください
- ・ 館内ではお静かにご観覧ください

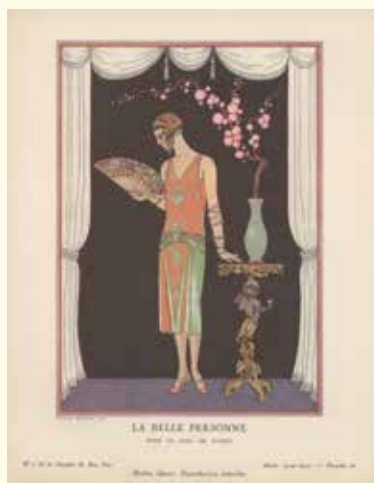
ご理解とご協力をお願いいたします



曾我美香 《キジバト》 2020年(部分)

同時開催 ドレスコレクション展

「ポショワールの版画とドレスで観る アール・デコ期のパリモード」



ジョルジュ・バルビエ 《美しい人》
『ガゼット・デュ・ボントン』1924年



ジョルジュ・ルパープ
『ジョルジュ・ルパープの見た
ポール・ポワレの作品』より 1911年



デイドレス
キャロ姉妹店 1922年頃



デイドレス
ポール・ポワレ 1912年

1910-20年代のファッション誌を彩った版画技法「ポショワール」は、亜鉛や銅版を切り抜いた型を用いて刷毛やスプレーで彩色する版画技法。フランス人のジャン・ソーデによって確立され、1908年に出版されたポール・ポワレのアルバムをはじめとして、当時の気鋭のデザイナーやイラストレーターの連携により、珠玉のモード誌が登場しました。本展ではガゼット・デュ・ボントンをはじめとする当時の4大ファッション誌の版画と、同時代のポワレ、シャネル、ランバンらの華麗なドレスを紹介します。

特別展「超・色鉛筆アート展 ～神ワザ 12人の彩りスタイル」

2023年9月9日(土)～11月5日(日)

開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 月曜日、9月19日、10月10日
(ただし9月18日、10月9日は開館)

観覧料 一般 1,000(800)円
65歳以上・大学生 500(400)円
高校生以下無料

- ※ 神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。
- ※ カッコ内は有料入館者30名以上の割引料金です。
- ※ 神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

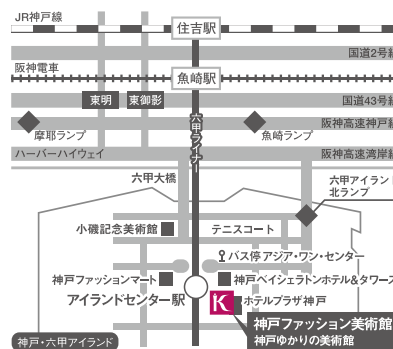
主催 神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社
後援 サンテレビジョン、ラジオ関西
監修 村田隆志 (大阪国際大学教授)
展示協力 大阪樟蔭女子大学



〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1
<https://www.fashionmuseum.jp>

お問い合わせ(広報担当)

TEL: 078-858-0050
FAX: 078-858-0058
Email: press@fashionmuseum.jp



アクセス

▶ 電車ご利用の場合

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナーに乗換、「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分

▶ お車ご利用の場合

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分

※ 当館地下の神戸ファッションプラザ駐車場のご利用が便利です
(利用料金: 20分100円・1日最大550円)